

# 最新BEST本

SIDE B No. 69

☆印は初登場!!

2001.3.1~3.31

TTCネットワーク月間データ

(学参を除く小社全書籍の売れ数)

書名	著者名	本体	配本	前月順
↑ 普及版 数の悪魔	H.M.エンツェンスベルガー	1600円	00.8.23	2
2 できればムカつかずに生きたい	田口ランディ	1400円	00.10.11	1
☆ 軟弱者の言い分	小谷野敦	1600円	01.2.27	NEW
4 馬鹿な男ほど愛おしい	田口ランディ	1400円	00.5.31	4
5 もう消費すら楽しくない彼女へ	田口ランディ	1600円	99.12.17	5
6 誰も教えてくれない聖書の読み方	ケン・スミス	1800円	01.1.24	6
↑ 7 日本史を走れ!	松尾秀助	1900円	01.1.16	16
8 ロードショーが150円だった頃	川本三郎	1900円	00.12.20	3
9 がん患者学	柳原和子	2600円	00.7.7	7
10 森の人 四手井綱英の九十年	森まゆみ	1900円	01.1.24	8
11 内田魯庵山脈	山口昌男	6600円	01.1.5	9
↑ 12 運鈍根の男	砂川幸雄	1900円	01.2.23	64
13 考える練習をしよう	M.バーンズ	1650円	85.3月	13
14 あなたの想い出	高平哲郎	1900円	00.12.15	14
↑ 15 数の悪魔	H.M.エンツェンスベルガー	2840円	98.8.25	21
16 強迫性障害からの脱出	リー・ペアー	2200円	00.12.20	10
↑ 17 新教養主義宣言	山形浩生	1800円	99.11.29	30
↑ 18 ケアマネジャー基本問題集(上)	晶文社出版編	1600円	00.8.25	22
↑ 19 シニアに便利な生活グッズ	浜田きよ子	1900円	01.1.24	23
20 文庫本を狙え!	坪内祐三	1900円	00.11.15	20

言軟い弱者分者

小谷野敦

あぁ、もてない上に軟弱だなんて……

帯まで誉められたい

3刷出来!

最新BEST 初登場堂々3位

軟弱者の言い分

小谷野敦 本体1600円

ISBN4-7949-6479-X

「〇〇先生絶賛、なんと帯よりも編集者のセンスがキラリと光るコピーはなにかと書店を探してパッと目が留まったのがこれ(4/4誌売)」

Pen 5月号/ダヴィンチ 5月号/週刊ポスト 4/13号

書評出ました! / NHK BSブックレビュー 4月28日(土)に紹介! BRIO 6月号に著者インタビュー 出ます!!

新刊展望 5月号「読書日記」/ 新刊ニュース 5月号 対談もあり!

紹介今やたけなわ!

ダ・カーポ No.467 / Composite 5月号

C.ダグラス・ラミス

憲法と戦争

憲法記念日を前に(著者)売れます

ただいま3刷重版中!

憲法と戦争

C.ダグラス・ラミス 著

本体1800円 ISBN4-7949-6452-8

憲法9条は死んだのか?

日丸・君が代強制の かくされた意味とは? — 憲法をめぐるさまざまな問題を根源から問い直し、日本国憲法を考えるための大きな示唆となる話題の本です!

ラミスの他著『ディカルな日本国憲法』(晶文社)

『考え、売ります』(平凡社)『ディカル・デモクラシー』(岩波書店)

晶文社近刊案内 4~5月

長田弘『すべてきみに宛てた手紙』 発売直後 5重版!

山村基毅『森の仕事と木遣り唄』 日本の林業の「栄」と問題点を問う力作

竹内敏晴『思想する「からだ」』 人の存在の根源を問う 竹内思想の集大成!

沼野正子『今宵も歌舞伎へおひります』 歌舞伎入門 オススメ!!

岡本太郎『みんなイタリア語で話していた』 イタリア語を学べる 語学イベント

池内了『科学は今どうなっているの?』 王見代子先生エッセイ

橋爪紳也『人生は博覧会 日本ランカイ屋列伝』

クレアム・グリーン『投書狂』 明治~戦後の博覧会ブームを支えた「ランカイ屋」たちの物語

麺食いシマダの

この店に行け!

不定期連載 No. 43

★安いうえに旨い、しかも早いと評判の「吉野家」が、往年のキャッチコピー「だか、最近では可処分所得が減ってしまった「サラーマンのラン干」にこそひたりのキャッチコピーである。

新橋通りではOLに限らずオジさんが平日半額の「マクドナルド」に列をつくる。先日1週間限定で250円セールを行なった「吉野家」では食材が間に合わず休業店が続出したとか。セブンイレブンや他のコンビニでもおにぎりや弁当の安売りを競い合う。ラン干300円時代到来を告げる大新聞も現れた。世はデフレらしい。さて、神田須田町界隈でバブルの頃はよく行った割烹「万代」や神田「藪蕎麦」と、鳥すま「またん」や

常のいかにシマダ?

鮎陣鍋の「いせ源」にはさまれた三角地帯の先端

角地にお気に入りの立ち食いそば屋がある。よく見かけるチェーン店ながら、この店は独立店の風情がある。普通チェーン店はマニュアルもノウハウも統一して基本的にはどの支店でも同じ味、サービスのはずだがこの店は違う。まず麺の湯きりから丁寧である。チャッチャを10回以上する。天ぷらは揚げたてのことが多い。なかでも「いかげそ天」のボリュームに驚く。厚さ数センチはあるうか。そしてプリプリ感がたまらない。つゆは天然だしを使用。無化調なのでよくある立ち食いそば屋の刺激臭が全く無い。通常の七味とは別に ガラスの容器に入れられた一味がおりがたい。それをスプーン1杯弱ふりかけから食う。これ以上は辛くて食べない。これ以下だと物足りない。つゆを飲み干し、

♪ ドンブリの底に一味が残るくらいがちょうどよい。● この「いかげそ天」が何と400円! 普通のかき揚げ天は100円380円だが、このいかげそに目覚めてからは20円プラスするこに迷いが無くなった。食後に爪楊枝で一味の一片を見つけたし、奥歯で噛みやいなや口の中に広がるトウガラシの辛味に、おまけをもらったみたいでウフッである。これで何グラムかのダイエットに成功したと思いたい。これを至福と言わずに何と言おうか。巨鼻で眼ツルツルのおおにーさんと、丸顔でいかにも人のよさそうなお主人の二人組が何とも温かみあるね、気持ちよくさせてくれる。安い物を売っている、というふんばいなところが全く無い。

店名 <六文そば> [営業部・島崎久]